



西武新宿線沿線 まちづくり通信



発行：平成28年6月 杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当



西武新宿線立体化の早期実現を 東京都に要請しました。

平成28年4月19日、田中区長と西武新宿線各駅のまちづくり協議会会長、関係区議などが東京都庁を訪れ、西武新宿線立体化の早期実現に関する要望書を東京都の安藤副知事へ提出しました。

田中区長は「一刻も早く踏切が無くなり、便利で安全快適なまちとなるように、鉄道立体化の実現に向けた取組みを進めていただきたい」とあいさつし、次の事項を要望しました。

- 事業化に向けて、調査・検討が開始された西武新宿線（野方～井荻駅間）（井荻～東伏見駅間）の連続立体交差事業の早期着工
- 駅周辺の基盤整備及びまちづくり関連の事業の推進に必要な支援を講じること



西武新宿線沿線のまちづくり

杉並区内の西武新宿線沿線地域では、まちづくり活動が活発に行われ、平成26年、下井草、井荻、上井草の各駅まちづくり協議会から、地域の課題を整理し、今後のまちづくりの目標などをまとめた「まちづくり構想」が区に提案されました。この提案を受け区では、「西武新宿線沿線各駅周辺地区的まちづくり方針」を策定しました。今回の要請では、「まちづくり方針」策定の報告もあわせて行いました。

今後は、「西武新宿線沿線各駅周辺地区的まちづくり方針」に基づき、地域の皆さまが描いたまちの将来像やまちづくりの中心となる西武新宿線の連続立体交差の早期実現に向けた取組みを進めてまいります。



西武新宿線沿線3駅 「まちづくり協議会」の連携した取組み

下井草・井荻・上井草の各まちづくり協議会が連携し、
井草地域区民センター協議会との協働事業として、
講座「井草地域のまちづくり今昔」を平成28年3月13日に実施しました。

下井草・井荻・上井草の各まちづくり協議会が連携し事業を開催することは、初めての試みで、井荻駅まちづくり協議会の事務局が中心となり、テーマの決定や講師の依頼などの打合せを各協議会と重ね、講座を開催しました。

当日は、杉並区立郷土博物館の学芸員を講師とし、井草地域における古代～近世、現在までの歴史について、講演を行いました。



● 講座の主な内容は、次のとおりです。

- ・井草遺跡と井草式土器について（原始・古代）
- ・太田道灌と豊島氏について（中世）
- ・高家今川家と上・下井草村について（近世）
- ・井草地域の発展と内田秀五郎の業績について（明治・大正）
- ・戦後の復興や地域資産（井草森公園、アニメ振興等）について

講座には、53名の参加があり、講演後には、参加者より多くの質問が寄せられ、地域にとって関心の高い内容となりました。



参加者の皆さまからのご意見



- 講座で登場した歴史的な場所をめぐりながら、現地で解説教室を開催してほしい。
- 内田秀五郎の業績に絞った講座を聞いてみたい。
- 今後も、ゆっくり郷土の歴史を話して下さる機会をつくってほしい。
- 井草地域には、水に関する町名が多いので、例えば、水、井、沼など、町名と水との関係が分かると楽しい。
- 今日の講座の内容をもとに、近所を散策したい。
- 知らないことが多く、たくさんの知識を得ることができた。東京は移住する人たちが多い地域なので、地域の良さを資料などでPRしてほしい。

問い合わせ先： 杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当
TEL 03-3312-2111 内線 3504
FAX 03-5307-0689